

平成 27 年 5 月 12 日

各 位

会社名 大林道路株式会社
 代表者名 代表取締役 長谷川 仁
 (コード番号 1896 東証第1部)
 問合せ先 執行役員総務部長 桑原 豊
 (TEL. 03-3295-8860)

支配株主等に関する事項について

1. 親会社の商号等

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社大林組	親会社	41.93	—	41.93	株式会社東京証券取引所 市場第一部 証券会員制法人福岡証券取引所

2. 親会社の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社との関係

① 親会社の企業グループにおける当社の位置付け、親会社との取引や人的・資本的関係

株式会社大林組は、当社の議決権の 41.93%を所有する親会社であります。当社は、親会社の企業グループの一員として、舗装工事、土木工事の施工等及びアスファルト合材等の製造・販売を行い、親会社の企業グループが展開する建設事業の一部を担っております。

親会社との取引につきましては、建築工事、土木工事に付帯した舗装工事、外構工事に関する設計・施工の一部を請け負っております。

なお、現在、当社取締役 6 名のうち 1 名を親会社から受け入れており、監査役 4 名のうち 1 名は親会社の従業員であります。

② 親会社の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社が、親会社の企業グループに属することによる事業上の大きな制約はありません。また、メリットとしては、親会社の技術力・信用力を活用できることと、親会社が重要な顧客・施主であることであります。これらを活用しつつ当社は、独自の事業活動を行っております。

③ 親会社からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

当社は、独自の経営判断に基づき受注・販売活動を行っており、親会社から一定の独立性が確保されていると考えております。また、当社は、今後とも親会社と連結重視の経営の視点から安定的な取引を継続し、資金の効率的なグループ内管理や、必要な情報・技術などの交流を図り、親会社の企業グループ全体の業績に資するために緊密な関係を維持していく方針であります。

④ 親会社からの一定の独立性の確保の状況

当社は、親会社の企業グループと良好な協力関係を保ちながら、当社独自の経営判断に基づき事業活動を展開しております。また、親会社への価格交渉力を有しており、役員の兼務状況においても、当社独自の経営判断を妨げるものではなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

3. 親会社との取引に関する事項

当連結会計年度（自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日）

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者との関係	
						役員の 兼任等	事業上の関係
親会社	㈱大林組	東京都 港区	57,752	建設、土木工事の請負並 びにこれらに関連する事 業、不動産の売買、賃貸 並びにこれらに関連する 事業	(被所有) 直接 41.93	—	建設工事の受 注、製品の販売、 建物等の賃借並 びに建築工事の 発注
		取引の内容		取引金額 (百万円)	科目		期末残高 (百万円)
		建設工事の受注	22,080	電子記録債権 完成工事未収入金 未成工事受入金 受取手形割引高	5,149 5,451 187 230		

(注) 1. 取引金額には消費税等が含まれておらず、電子記録債権、完成工事未収入金、受取手形割引高の期末残高には消費税等が含まれている。

2. 建設工事の受注、製品の販売及び建築工事の発注については、当社と関連を有しない他の当事者と同様の条件となっている。

4. 当該親会社との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社と親会社との関係については、建築工事、土木工事に付帯した舗装工事、外構工事に関する設計・施工の一部を請け負うなどの一定の取引がありますが、これらの取引については一般取引条件と同様に合理的に決定することとしております。

以 上